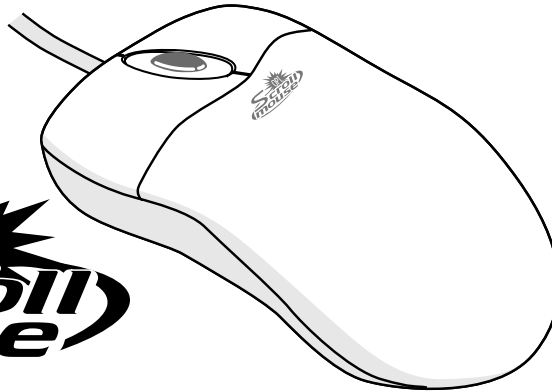




オプトスクロールマウス取扱説明書

USB

OPT. Scroll mouse



最初に ご確認 ください。	セット 内容	マウス本体	1台
		ドライバディスク(8cmCD)	1枚
		取扱説明書	1部

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みください。また、
お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。

サンワサプライ株式会社

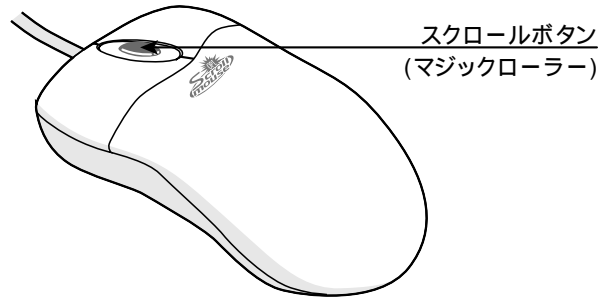
目次

1	はじめに 対応機種
2	接続する前に必ずお読みください。 ・本製品をUSBポート接続する際の注意 ・ポインティングデバイス内蔵のノートパソコンでのご使用の際 ・BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合
3	ハードウェアのインストール
4	ソフトウェアのインストール ボタンの特長
5	オプトスクロールマウスソフトウェアの特長 ・スクロールソフトウェアを開く ・マジックローラー ・ポインタ・カーソル ・アクション ・設定 ・Easy Jump(イージージャンプ)の特長 ・ボタンの選択 ・バージョン情報 ・方向 ・オプトスクロールマウスドライバのアンインストール

はじめに

この度は、オプスクロールマウスをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は、ボールを使わないオプティカル方式(光学式)のマウスです。通常の使い方にプラスして、ひざの上などでも操作が行えるので、様々なシーンで威力を発揮します。ボールを使わないので、チリやホコリがたまってボールの動きがスムーズでないといったことがない、メンテナンスフリー構造になっています。

また本製品は人間工学に基づいたエルゴノミックデザインのスクロールマウスで、これひとつでインターネット上でもWindows上でも簡単に画面をスクロールすることができます。さらに、指一本で「Magic Roller」を操作でき、入力も簡単に行えるので、効率の良い手の動きが可能となります。



対応機種

各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ、IBM ThinkPadシリーズ
(USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種)

OSは、Windows Me、Windows 98SE/98及びWindows 2000に対応。
Windows 95/3.1には対応不可。

この文章中に表記されるその他すべての製品名などはそれぞれのメーカーの登録商標、商標です。

接続する前に必ずお読みください。

本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindows Me等において自動認識され使用可能となります。
もし、本製品が正常に動作しない場合は、USBインターフェースが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」「設定(S)」「コントロールパネル(C)」「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックすると、下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。
USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSアップグレードや、BIOS設定の確認などをおこなってください。一部の機種では、初期設定でUSBポートの使用が不可になっているものもあります。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

接続する前に必ずお読みください。(続き)

ポインティングデバイス内蔵ノートパソコンでのご使用の際

パソコン本体の内蔵ポインティングデバイスを使わないように設定してください。

- 例) タッチパッドユーティリティ(Alps Glide point ,NX PAD ,Synaptics Touch Pad)の場合(SONY VAIOノート, NEC PC98-NXノートなど)
- 「スタート」「設定」「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャー」「マウス」「Glidepoint」のプロパティを開く。
 - 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンを押す。
 - そのまま進み、「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し次へ進む。
 - 「デバイスドライバの更新ウィザード」が立ち上がったら「すべてのハードウェアを表示」を選択する。
 - 製造元「Microsoft」、モデルを「Microsoft PS/2 Port Mouse」を選択する。
 - 完了後、再起動し、「Notebook setup」でタッチパッドを使用しないように設定する。
 - 外付けマウスを手順通りインストールしてください。

「マウスウェア」を内蔵している場合は、アプリケーションの追加と削除で「マウスウェア」を削除し、内蔵ポインティングデバイスが「標準PS/2マウス」ドライバで作動している状態で、インストール作業を始めてください。

BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合

BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体のマニュアルをご覧ください。

ハードウェアのインストール

注意：オプティカルマウスを接続してからドライバソフトをインストールしてください。

マウスの接続

- 1) コンピュータの電源を入れます。
- 2) Windows Me等が完全に起動してから、本製品をコンピュータの USBポートに接続します。その際、コネクタの上下を間違えて無理矢理差し込むと故障の原因となりますので注意してください。
- 3) 自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。
- 4) あとは画面の指示に従ってください。

新しいハードウェアの追加ウィザード

新しいドライバを検索しています。

USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ

検索方法を選択してください。

- 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨) ----- 次へ

新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。

フロッピーディスクドライブ(F)

CD-ROMドライブ(C)

Microsoft Windows Update(M)

✓ 検索場所の設定(L)

C:¥WINDOWS¥INF

もしくは C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS

もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブに Windows Me CD-ROMを挿入し、CD-ROMドライブ(C)にチェックを付けてください。

次ページにつづく...

ハードウェアのインストール (続き)

次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ
USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 完了
Windows 2000では、上記インストール方法と多少異なります。

ソフトウェアのインストール

注意：インストール前に他のアプリケーション等を外しておくことをお勧めします。

- 1) Windows 2000を起動させ、付属のドライバディスクをCD-ROMドライブにセットしてください。
- 2) 「スタート」から「ファイル名を指定して実行(R)」を選んでください。
- 3) 名前(O) D : ¥ win2k ¥ setup.exeと入力してください。
(CD-ROMドライブがDドライブの場合)
- 4) 「設定言語の選択」画面で - OK
- 5) 「ようこそ」画面 - 次へ(N) >
- 6) 「マウスのタイプを選択」画面 - 「USBマウス」を選択して、次へ(N) >
- 7) 「インストール先の選択」画面 - 「C:¥ Gmouse」の状態次へ(N) >
- 8) 「プログラムフォルダの選択」画面 - 「Scroll Mouse」の状態次へ(N) >
- 9) 「セットアップ完了」画面 - 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択して、終了。

(注意) Windows Me/98SE/98/NT4.0(SP3以降)でのインストール

上記 3) で名前(O) D : ¥ win98NT ¥ setup.exeと入力してください。(CD-ROMドライブがDドライブの場合)

ボタンの特長

左ボタン

左ボタンは一般的なマウスボタンと同様です。例えば、クリック、ダブルクリックなど。

右ボタン

キーボードとマウス両方で頻繁に使う操作を、この右ボタンに記憶させることができます。さらに、イージージャンプ、オートパン、ズームなどもおこなえます。

マジックローラー

WWWブラウザやWindows上のドキュメント画面等をスクロールさせる際、このマジックローラーを前後に回転させて使います。

水平スクロール


Shiftキーを押しながらマジックローラーを回転させるか、マウスカーソルを水平スクロールバー上にもっていき、マジックローラーを押してください。

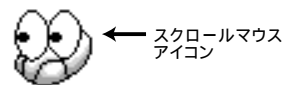
マジックローラーボタン

キーボードとマウス両方で頻繁に使う操作を、このマジックローラーボタンに記憶させることができます。さらに、イージージャンプ、オートパン、ズームなどもおこなえます。

オプトスクロールマウスソフトウェアの特長

スクロールソフトウェアを開く

タスクトレイに表示されているスクロールマウスアイコン  をダブルクリックすると、スクロールコントロールパネルが開きます。



<マジックローラー>



ブラウズするスピード
インターネットやWindowsでドキュメントを使う場合、ブラウジングスピード(スクロールのスピード)を調節できます。



ブラウズする方向
マジックローラーをモニタ側に動かすとドキュメントの冒頭部分にスクロールします。逆転を選択するとドキュメントも逆方向に動きます。

<ポインタ>

ポインターフォルダ
マウスカーソルの形を変えることができます。

<カーソル>



ボタンの検出
ダイアログボックスが画面に表示された時、自動的にマウスカーソルがボタンに移動します。



ポインタの軌跡
このオプションにより、液晶画面上で簡単にマウスカーソルを発見することができるようになります。モニタがこれをサポートしていなければ使用できません。



ループ
画面の上端と下端をつなげる(ループさせる)ような機能です。マウスカーソルを、画面の上端より上に持っていこうとすると画面下端に現れ、画面下端より下に持っていこうとすると画面上端に現れます。

<アクション>



マウスカーソルの速度
マウスカーソルの移動速度を調節できます。ば使用できません。



ダブルクリックの速度
ダブルクリックを認識する速度(タイミング)の調節ができます。



ボタンを逆転
左右のボタンを切り替えたい場合はここで設定してください。

オプトスクロールマウスソフトウェアの特長 (続き)

< 設定 >

ボタン割り当て

オプトスクロールマウスは、頻繁に使うマウス・ドキュメント・ウィンドウの機能を記憶することができます。さらに、イージージャンプ、オートパン、ズームなどの機能も記憶できます。ボタンをクリックすると画面に機能一覧が表示されるので、ここでイージージャンプの機能を選ぶことができます。

Easy Jump(イージージャンプ)の特長

このイージージャンプで8つの特別な機能を簡単に選ぶことが出来るようになります。



アプリケーションの終了。
カーソルが水平スクロールバーに移動します。
カーソルが垂直スクロールバーに移動します。
スタートメニューを開きます。
WWWブラウザを開きます。
ヘルプメニューを開きます。
スクロールマウスのコントロールパネルを開きます。
オートパニング
マウスを動かすとその方向にドキュメントがスクロールされます。

ボタンの選択

アプリケーション:

右ボタンをSwichAPに設定すると、マウスを動かすことなくアプリケーションの切り替えが簡単に行えます。右ボタンを押しながらマジックローラーを押してアプリケーションを選択してください。アプリケーションセレクトが表示されるので簡単に選択できます。

ズーム:

Office97用、IE4.0アプリケーションのズーム機能
Ctrlキーを押しながら、マジックローラーをモニタ側に回すと拡大、手前側に回すと縮小されます。また、右ボタンにCtrl機能を設定すると、片手でズーム機能を使うことができます。

パン:

この機能はボタンアサイメントメニューで設定することができます。マウスを動かすとドキュメントがその方向に移動します。

モード:

Microsoft Intelli Mouse互換モードでは、MS Office97などのアプリケーションで、Microsoft Intelli Mouseとほぼ同様の便利な機能を使うことができます。

Scroll Mouse Modeでは、スクロールバーを持つアプリケーションでズーム、オートパン、スクロールなどが使用可能です。

オプトスクロールマウスソフトウェアの特長 (続き)

<バージョン情報>

オプトスクロールマウスドライバのバージョンがわかります。

<方向>

方向の設定



この機能でマウスの方向の調節ができます。

これにより楽に方向を決めることができます。ポータブルトラックボールの場合に大変有効です。

オプトスクロールマウスドライバのアンインストール

スタートメニューの「プログラム(P)」に「Scroll Mouse」という項目が登録されていますので、その中から「Scroll Mouseのアンインストール」を実行してください。